

# 資料 2

## 飯能新校基本計画骨子（案）

対象校 ( :設置校)	飯能高校 飯能南高校
開校 年度	令和 5 年度
課程・ 学科等	全日制課程
	普通科
	単位制
学校 規模 (1学年当たり)	280人(7学級)
目指す 学校像	<p>ア 地域と協働した探究活動を通して、社会に貢献できる広い視野を持った人材を育成する学校</p> <p>イ 進学を重視した、生徒一人一人の高い進路目標の実現を支援し、生徒や保護者、地域から信頼される学校</p> <p>ウ 小・中学校や大学等との連携を深め、地域の教育拠点として地域に貢献する開かれた学校</p>
育てたい 生徒像	<p>ア 高い志と文武両道の精神を持ち、自らの力で人生を切り拓く生徒</p> <p>イ グローバル社会に対応できる資質・能力を備え、多様な価値観を受容できる生徒</p> <p>ウ 多様な人々と積極的に交流し、地域社会の課題を発見・解決する地域のリーダーとして貢献できる生徒</p>
基本 姿勢	<p>新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの視点から、学習環境の充実を図り、地域との協働による探究的な学びを実践する。</p>

	基本方針	<p>ア 全ての教科・科目において、ICTを活用した探究的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力を育成する。</p> <p>イ グローバル社会に対応できる国際感覚や語学力を育成する。</p> <p>ウ 地域と協働した探究的な学びを通じ、地域の魅力を再認識させるとともに、持続可能な社会の創り手として、課題発見・解決能力やプレゼンテーション能力、チャレンジ精神等の育成を図る。</p> <p>エ 多面的な評価を構築し、指導と評価の一体化を図るとともに、目標に向かって最後までやり抜く力など、生徒が主体的に学びに向かう力を涵養する。</p>
教科指導	具現化	<p>ア 単位制の特長を生かし、生徒の興味・関心、能力・適正、進路希望に応じた多様な選択科目を設置する。</p> <p>イ 教科・科目等の枠を超えた横断的・総合的な学びを推進し、地域の協力も得ながら発表・討論の機会を積極的に取り入れる。</p> <p>ウ ICTを活用した協調的な学びを実践する。</p> <p>エ まちづくり、産業、観光、スポーツ等地域の教育資源を活用した探究的な学びを推進する。</p> <p>オ 小・中学校や大学等との遠隔授業、教員間のテレビ会議等、ICTも活用し、地域を愛する心を育む継続的な教育体制を確立する。</p> <p>カ 地域の友好都市との国際交流や様々な英語の検定試験への挑戦等を通じて、英語4技能の向上を図る。</p> <p>キ 教科ごとのルーブリックを活用し、教育活動の到達度を教員や生徒自身が評価し、学習改善を行うPDCAサイクルを構築する。</p>

	基本方針	<p>ア 生徒一人一人が自らの意思で社会に関わる主体性を育み、社会的・職業的自立の基盤となる基本的生活習慣を確立させる。</p> <p>イ 生徒理解に基づき、多様な生徒の個に応じた指導を行う。</p> <p>ウ 学校行事の充実や地域の教育力を活用し、自己肯定感や豊かな心の育成を図る。</p>
生徒指導	具現化	<p>ア 全職員で共通理解のもとに、時間や挨拶、身だしなみ等の大切さを認識させ、生徒の自律的な行動を支援する。</p> <p>イ 職員一人一人がカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携してチームで指導を行う。</p> <p>ウ 多様な他者を認め、生徒が安心して発言し、失敗を怖がらずに行動できる環境を醸成する。</p> <p>エ 地域や大学等と連携した専門的な部活動指導や生徒が主体的に実践する学校行事を推進する。</p> <p>オ 地域のスポーツイベントの企画やまちづくり会議等への生徒の参加を積極的に推進する。</p>

進路指導	基本方針	<p>ア 生徒一人一人の多様な進路に対応できるきめ細やかな指導を行う。</p> <p>イ 地域と連携した探究的な学びを通じて、自らの進路を主体的に選択することができるよう、組織的・計画的な進路指導を行う。</p>
	具現化	<p>ア ICTを活用して多様な人材と交流を図るなど、生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、大学進学、専門学校進学や就職など、一人ひとりの目標を実現できる進路指導を計画的に実施する。</p> <p>イ 地域の人材によるキャリアガイダンスや面接指導等を実施する。</p> <p>ウ 大学入学者選抜改革に関する情報を収集・提供し、中堅大学から難関大学まで対応できる進学指導を行う。</p>
生徒募集	基本方針	<p>ア 新校の基本理念や教育内容を広く浸透させるため、積極的に広報活動を行う。</p> <p>イ 地域に根差した高校を目指し、地元からの受検者を増加させる。</p>
	具現化	<p>ア 生徒の活躍する場を地域に広げ、生徒たちの姿を通して高校の魅力を発信する。</p> <p>イ 魅力が一目で分かるリーフレットの作成やPR動画の作成、地域の広報紙への掲載などを組み合わせ、効果的に発信する。</p> <p>ウ 市内の中高連絡協議会を活用し、中学校の教職員に高校の特色を広める。</p> <p>エ 小学生を対象とした親子科学実験教室や部活動体験、学校説明会を実施し、親子で魅力を感じてもらう。</p>
その他		<p>ア 社会に開かれた教育課程を実現するため、学校教育だけでなく地域と連携した社会教育も推進する。</p> <p>イ 地域社会のスポーツ活動・文化活動の発展に貢献する。</p> <p>ウ 指導充実を目的とした様々な研修を実施して、教職員の資質・能力の向上を図る。</p>